

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第19週の発生動向

### トピックス

#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

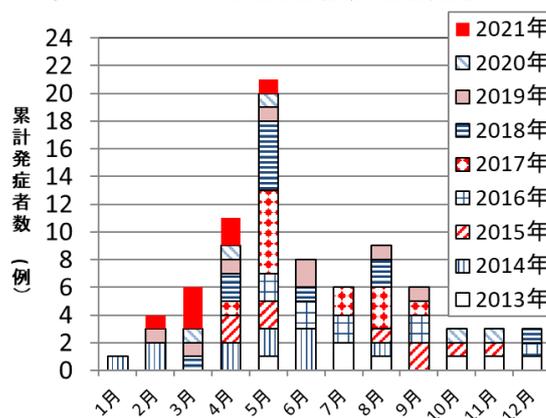
(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は70歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計81例となった。

#### 県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	31	18	5

・**新型コロナウイルス感染症**(**新型インフルエンザ等感染症**)の報告が236例あり、2021年の累積報告数は1,959例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



### 全数報告の感染症 (19週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、筋肉痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、紫斑
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹

### 新型インフルエンザ等感染症 (19週までに新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 236例：保健所別、年齢別報告数は表のとおりで、主な症状は発熱、咳、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害等であった。

保健所	報告数	年齢群									
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
宮崎市	172例	17	31	30	24	26	19	14	6	3	2
都城	19例		1	10	3		4		1		
延岡	10例		6	1	1		1	1			
小林	5例		2		2		1				
高鍋	11例	1			2	1	5	1	1		
高千穂	2例			1						1	
日向	8例	2		1	2	2	1				
中央	6例			1	1	1	1	1	1		
県外	3例			1	2						

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は356人(定点当たり10.2)で、前週(祝祭日の休診含む)比128%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【RSウイルス感染症】

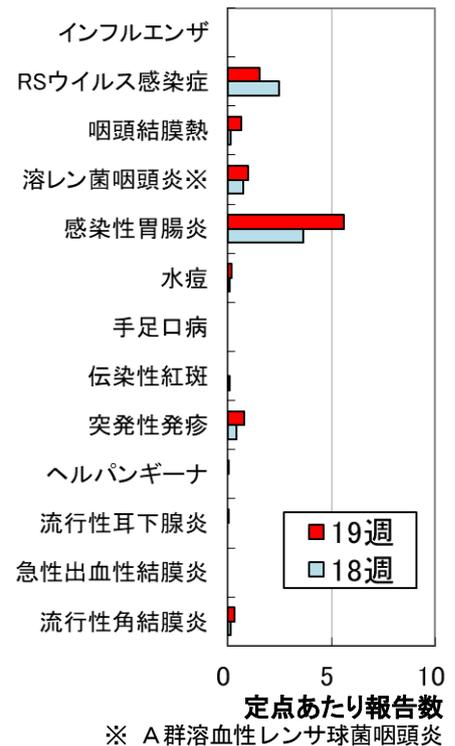
報告数は56人(1.6)で、前週比62%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.16)の約9.8倍であった。中央(6.0)、日向(4.5)、延岡(3.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月～2歳が全体の約8割を占めた。

#### 【感染性胃腸炎】

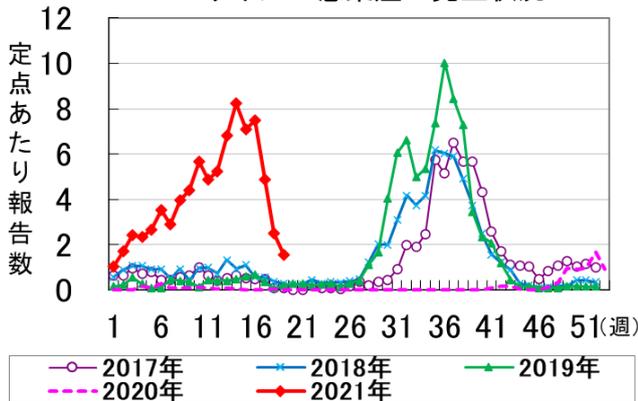
報告数は201人(5.6)で、前週比152%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(7.2)の約0.8倍であった。小林(12.7)、都城(9.7)、日向(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～2歳が全体の約3割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

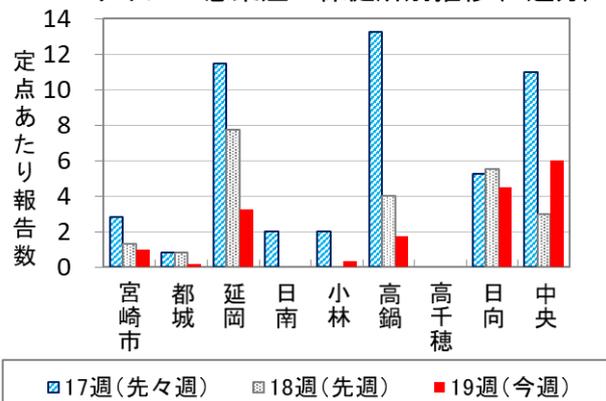
### 《前週との比較》



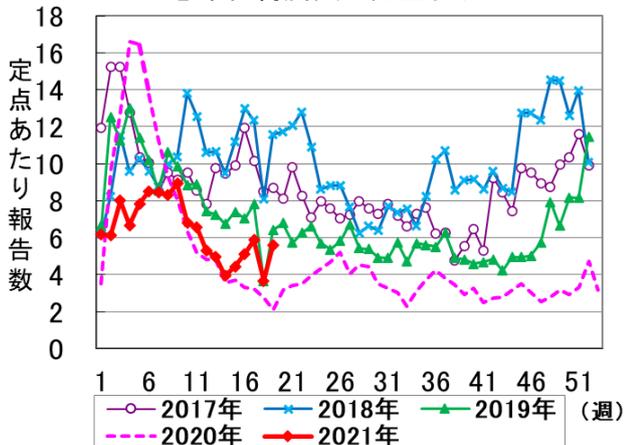
### RSウイルス感染症 発生状況



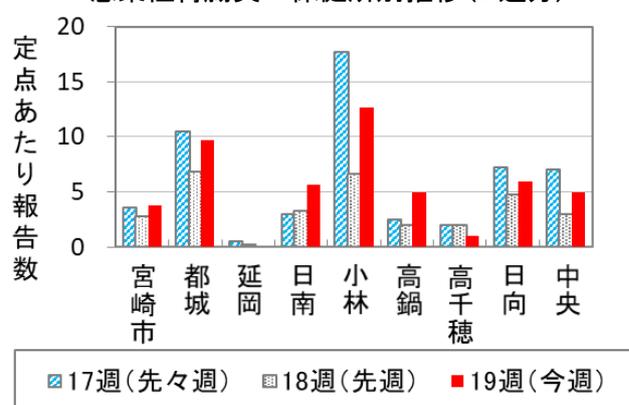
### RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



### 感染性胃腸炎 発生状況



### 感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

## 🇯🇵 全国 2021 年第 18 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	104 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	24 例				
4類感染症	E 型肝炎	6 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	1 例
	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	7 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	4 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例	水痘（入院例）	1 例	梅毒	47 例
	百日咳	5 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 61%と減少した（祝祭日の休診含む）。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は 2,714 人(0.86)で前週比 72%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.20)の約 4.3 倍であった。石川県(3.3)、福岡県(3.2)、富山県(2.9)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 6,880 人(2.2)で前週比 56%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (4.7)の約 0.5 倍であった。高知県(6.8)、愛媛県(6.0)、香川県(5.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2021年4月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は22人(1.7)で、前月比50%と減少した。また、昨年4月(3.5)の48%であった。

《疾患別》

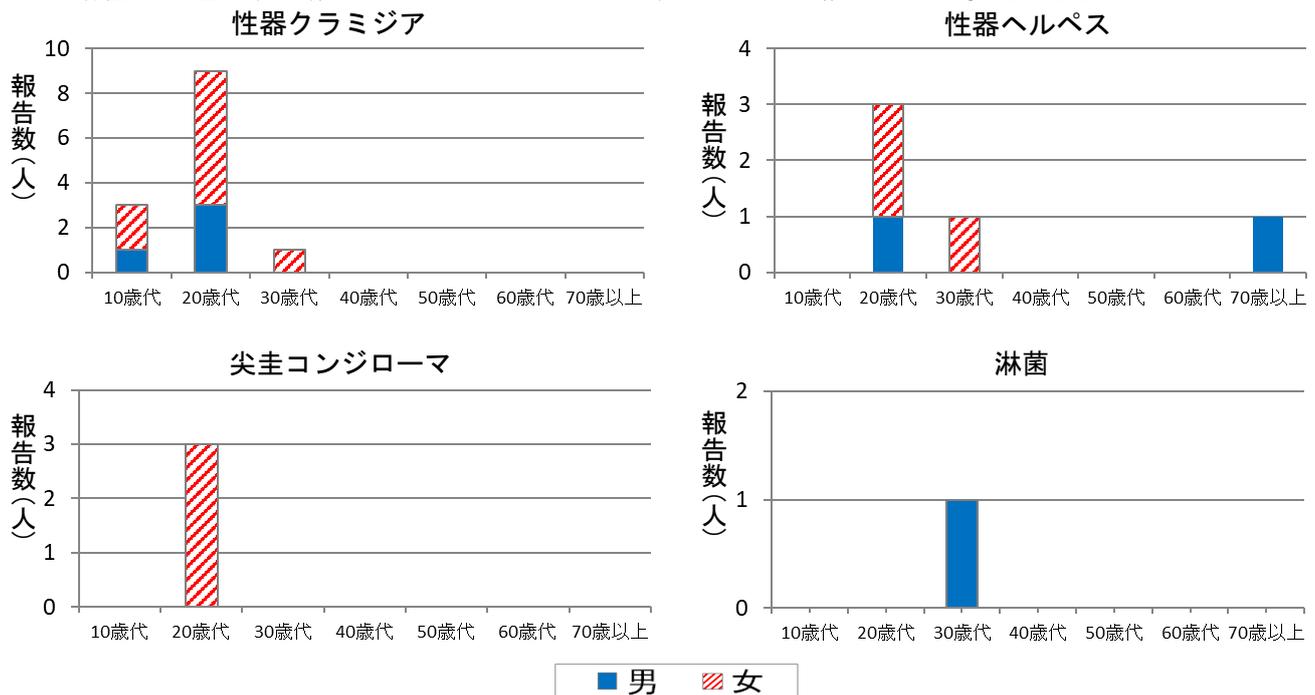
○性器クラミジア感染症：報告数13人(1.0)で、前月の約0.6倍、昨年4月の約半数であった。

10～20歳代が全体の約9割を占めた。(男性4人・女性9人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約半数、昨年4月の約0.6倍であった。(男性2人、女性3人)

○尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年4月と同率であった。(女性3人)

○淋菌感染症：報告数1人(0.08)で前月及び昨年4月の約0.1倍であった。(男性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,428人(4.5)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,355人(2.4)で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症695人(0.71)で前月比87%、尖圭コンジローマ495人(0.51)で前月比109%、淋菌感染症883人(0.90)で前月比113%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比131%と増加した。また、昨年4月(1.6)の155%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の約1.3倍、昨年4月の約1.5倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,229(2.6)で、前月比88%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,146人(2.4)で前月比87%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症72人(0.15)で前月比115%、薬剤耐性緑膿菌感染症11人(0.02)で前月比67%であった。

疾病名	第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央	
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
RSウイルス 感染症	報告数	90	56	10	1	13	1	7		18	6	
	定点当り	2.50	1.56	1.00	0.17	3.25	0.00	0.33	1.75	0.00	4.50	6.00
咽頭結膜熱	報告数	6	23	7	7	1	1	2	3		2	
	定点当り	0.17	0.64	0.70	1.17	0.25	0.33	0.67	0.75	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	27	35	4	3	8	1	4				
	定点当り	0.75	0.97	0.40	0.50	2.00	5.00	0.33	1.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	132	201	38	58		17	38	20	1	24	5
	定点当り	3.67	5.58	3.80	9.67	0.00	5.67	12.67	5.00	1.00	6.00	5.00
水痘	報告数	4	7	1	3	1	1		1			
	定点当り	0.11	0.19	0.10	0.50	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
伝染性紅斑	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
突発性発しん	報告数	16	29	11	2	4	3	2	4		2	1
	定点当り	0.44	0.81	1.10	0.33	1.00	1.00	0.67	1.00	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
流行性耳下腺炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	2		1	1						
	定点当り	0.17	0.33	0.00	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～19週)

2類感染症	結核	46例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	7例(1)	つつが虫病	13例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	3例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	37例(1)	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	1例	百日咳	1例		
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	1959例(236)				

( )内は今週届出分、再掲